

色々あって必修科目となりました。笑 「技術士を知ろう！ in 北海学園大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2023年度の活動第6弾は、北海学園大学社会環境工学科の3・4年生を対象に実施しました。

昨年からの担当であった所先生、安藤先生に加えて、高橋先生にもご協力頂き講演会を実施することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

2. 実施概要

講演日時：2023.10.31(火) 10:50～12:10

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木・建築全般の仕事紹介

対象者：北海学園大学 社会環境工学科 3年生
計45名、4年生1名

参加者：小澤、千葉(記)(ミライ研2名)

須田、藤井、杉本(光)(青技交3名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

北海学園大学での「技術士を知ろう！」では、まず小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

小澤代表も50歳の大台を迎え、写真1で見てもわかるように、威厳と貫禄がありすぎる感は否めません。笑。そのせいなのかわかりませんが、学生達も最初から最後まで真剣に耳を傾けてくれて、技術士資格について深く理解できたようです。



写真1 大台になった小澤代表

4. 技術士補の仕事内容と役割

技術士の仕事(藤井技術士)

まずは学園大OBでもある日本データサービス(株)に所属する藤井技術士から講演を行いました。

具体的な仕事紹介は、自身が関わってきた函館市の「住宅マスタープラン」についてでした。学生達にはなかなか馴染みの無い分野の仕事でしたが、難しい専門技術をわかりやすく伝えることで、学生達も藤井技術士が持つコミュニケーションスキルの高さを体感出来たのではないかと思います。

最後に後輩達へのメッセージとして、「カッコいいオトナ」になるための3箇条を伝えていましたが、我々にとっても良い刺激となりました。



写真2 “カッコいいオトナ”を体現する藤井技術士

(1)技術士の仕事(須田技術士)

続いて学園大OBであり、(株)ドーコンに所属する須田技術士から、道路計画や設計の仕事紹介の他、技術士を取得して変化したこと、やりがいや社内での評価などについて講演を行いました。

具体的な仕事紹介は、自身が関わってきた「地域主体の事業の進め方の提案」「利用者理解に向けた取組」「バスタプロジェクト」でした。

いずれの仕事もスケールの大きな話題で、学生達の度肝を抜いていましたが、OBがやりがいを持って楽しそうに話している姿は、何よりも説得力がありました。また、「技術士取得に際しJABEE制度は学園大の強みであり、技術士は出世のチケットである」と語り、学生達に大きく響いたようです。



写真3 ドヤ顔でOBの凄みを見せる須田技術士

5. 土木・建築全般の仕事紹介

講演最後は、千葉技術士((株)北海道水工コンサルタンツ・筆者)から、土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介しました。

このパートは、木本技術士が講演予定でしたが、インフルエンザのため参加出来ず、急遽代役で講演させていただきました。OB二人の講演が熱すぎたため、こちらのパートは少しくールに講演です。笑

学生への最後のメッセージには、皆さんは技術士の“たまご”であること。今大学で学んでいることは、「土木=社会基盤」を作っている分野であり、その基礎を習得していること。将来の仕事が自分たちの「まち」を造る(創る)ことに繋がるので、その楽しさ、面白さを感じてもらいたい。との想いを伝えました。



写真4 代役の千葉技術士(筆者)

6. 質疑応答

学生からの質問に回答する質疑応答では「技術士を取ることによりやりがい、信頼以外のメリットは何がありますか」、「少数の人がかなり困っている交通問題と大多数の人が少しだけ困っている交通問題だとどちらを優先しますか」、「色々な選択肢がある中でなぜ建設コンサルタントの道を選んだのか」、といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。



写真5 学生からの質問に答えるOB達

7. まとめ

学生からの感想には「取得することのみを目的とせず、取得したあとの自分をイメージしていきたい」、「第一線で活躍したいと考えるので、技術士という資格は必ず取得したい」、等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、46人中22人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、46人中38人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でいずれも4.7、4.7と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。